

U.S. Indicators

発表日: 2022年4月18日(月)

米生産活動は自動車・ハイテク主導で3月好調継続

～3月は製造業に加えて、鉱業が活発化～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

22年3月の鉱工業生産は、前月比+0.9%（2月同+0.9%）と市場予想の+0.4%を大幅に上回った（21年10月－22年2月合計で変更なし）。製造業が前月比+0.9%（2月同+1.2%）と減速したものの市場予想の同+0.6%を上回ったうえ、21年10月－22年2月合計で0.3%p上方修正された。また、鉱業が前月比+1.7%（2月同+1.3%）と加速したほか、公益が前月比+0.4%（同▲1.0%）と拡大に転じた。製造業は、半導体不足が続く中、オミクロン変異株の感染鈍化、供給制約の緩和等を背景に生産活動が活発化している。サプライチェーンの問題緩和によって自動車・同部品が大幅に増加したほか、需要の好調なハイテク関連が高い伸びを続けた。

3月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くもと生産の増加によって鉱工業が78.3%（前月77.7%）、製造業が78.7（前月78.1%）と上昇した。

生産活動の基調をみると、3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率では、3月の鉱工業生産が+8.1%（前月+6.5%）と加速し、強い拡大モメンタムとなった。製造業生産が+5.5%（前月+5.4%）と加速し高い伸びを維持した。また、四半期では1－3月期の鉱工業生産が前期比年率+8.1%と10－12月期の前期比年率+3.8%から加速し7四半期連続の高い伸びとなった。製造業生産が1－3月期に前期比年率+5.5%（10－12月期前期比年率+5.4%）と高い伸びを続けた。製造業の生産活動は、新型コロナウイルスのパンデミックに伴う財需要の拡大や在庫不足などが続く中、人材不足、輸送能力の不足などによる供給制約緩和の動き、オミクロン変異株の感染減少により、押し上げられ高い伸びとなった。

22年の製造業生産は、世界景気や国内需要の拡大の持続、在庫不足等を背景に、拡大モメンタムを維持すると予想される。ただし、世界的なデジタル化の動きのほか、スマートフォン、PCなどハイテク機器、自動車などの需要拡大による半導体不足の継続、ウクライナ危機に関連したサプライチェーンの問題によって、自動車や家電を中心に年前半の生産増加ペースは抑制される公算が大きい。

鉱工業生産

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)						設備稼働率		生産能力
	前月比	対前年同月比	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク関連	除ハイテク関連	自動車関連	全産業	製造業 (SIC)	
21/03	+2.9	(+1.8)	+3.4	+12.0	▲8.6	+1.5	+3.3	+4.0	+74.8	+75.3	+0.0
21/04	+0.1	(+17.9)	▲0.2	▲0.5	+2.7	+1.5	▲0.6	▲7.2	+74.8	+75.1	+0.0
21/05	+0.7	(+16.4)	+0.8	+1.7	▲1.4	+1.2	+0.8	+5.2	+75.3	+75.7	+0.0
21/06	+0.5	(+10.2)	▲0.2	+0.2	+6.1	▲0.9	▲0.3	▲5.0	+75.7	+75.5	+0.0
21/07	+0.7	(+6.6)	+1.4	+0.1	▲3.0	▲0.9	+1.4	+7.4	+76.2	+76.6	+0.0
21/08	▲0.1	(+5.4)	▲0.5	▲0.1	+2.8	▲0.1	▲0.3	▲3.2	+76.1	+76.2	+0.1
21/09	▲1.2	(+4.5)	▲0.8	▲2.1	▲2.9	+0.7	▲0.9	▲6.3	+75.1	+75.5	+0.1
21/10	+1.4	(+4.8)	+1.7	+4.0	▲3.6	+1.1	+1.7	+10.6	+76.1	+76.8	+0.1
21/11	+0.8	(+5.0)	+0.6	+0.2	+2.8	+1.2	+0.6	+1.2	+76.6	+77.2	+0.1
21/12	▲0.4	(+3.4)	▲0.1	▲0.0	▲2.6	+0.6	▲0.1	▲1.1	+76.3	+77.1	+0.1
22/01	+1.0	(+3.3)	+0.2	+0.5	+7.5	+0.3	+0.1	+1.1	+77.0	+77.2	+0.1
22/02	+0.9	(+7.5)	+1.2	+1.3	▲1.0	+2.6	+1.2	▲4.6	+77.7	+78.1	+0.1
22/03	+0.9	(+5.5)	+0.9	+1.7	+0.4	+1.4	+0.8	+7.8	+78.3	+78.7	+0.1

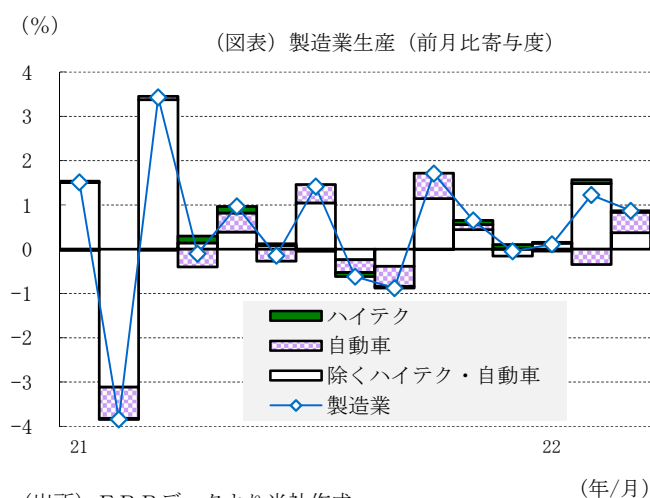
(注)カッコ内は前年比



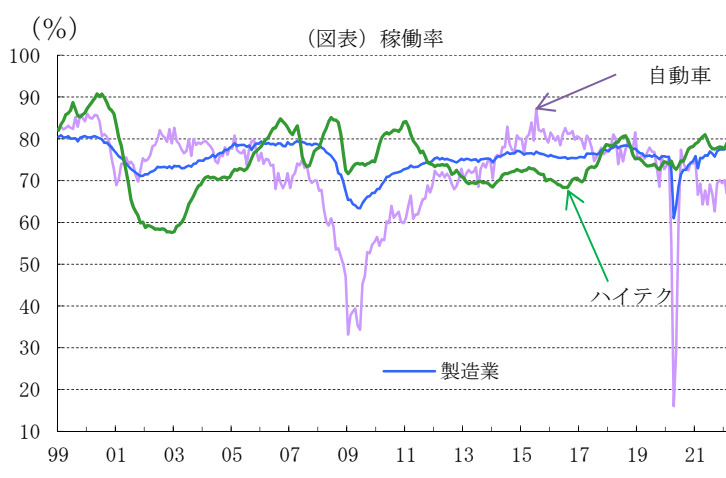
製造業の業種別の動向をみると、前月比で拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、自動車・同部品（+7.8%）、航空宇宙・その他輸送機器幅（+1.9%）、プラスチック・ゴム（+1.1%）、電気設備・機器・同部品（+1.0%）、一般機械（+0.8%）、その他耐久財（+0.7%）、石油・石炭製品（+0.7%）、化学（+0.7%）、コンピューター・電子（+0.6%）、アパレル・皮革（+0.5%）、木材製品（+0.4%）、食品・飲料・タバコ（+0.3%）、その他製造業（+0.2%）、加工金属（+0.1%）の14業種と2月の18業種から減少した。

一方、前月比で縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、一次金属（▲1.7%）、繊維（▲1.6%）、家具・関連製品（▲1.5%）、非鉄（▲1.2%）、印刷・同サポート（▲1.1%）、紙パ（▲0.7%）の6業種と2月の2業種から増加した。

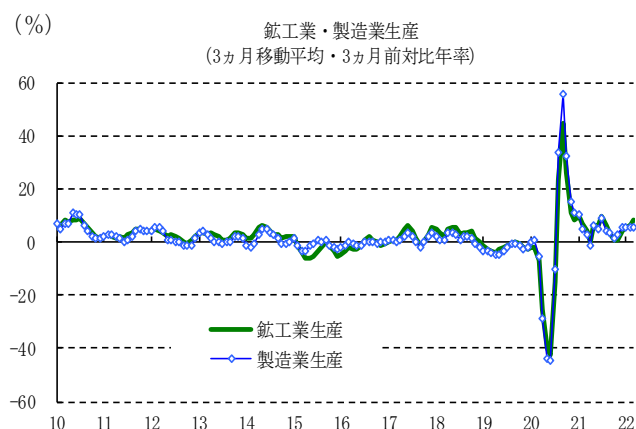
前年比では、繊維、アパレル・皮革、その他製造業の3業種が縮小した。



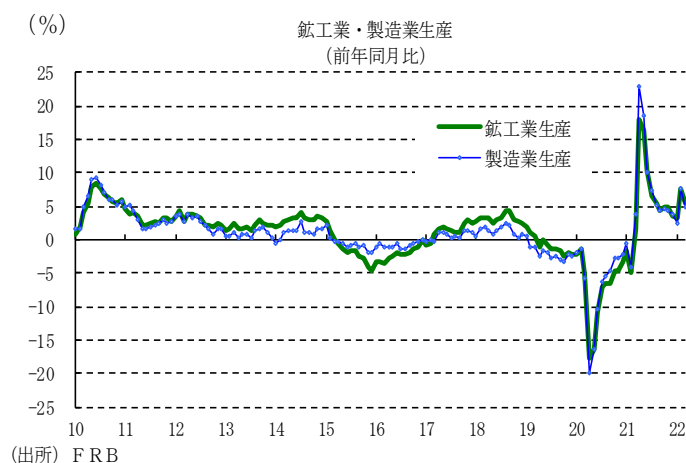
(出所) FRBデータより当社作成



(出所) FRB



(出所) FRB



(出所) FRB

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

